臺灣昌新報 夕刊 九月八日 夕刊定價一部二錢
(第二種) (郵便物認可) (臺北市一ノ三ノ九月九日第三種郵便物認可) 昭和十二年九月九日

# 斷乎！排擊す

## 〝今日西班牙で、明日は東亞で……〟と

## 黨年次大會 ヒ總統が獅子吼

【ニユールンベルグ七日發同盟】第九回ナチス黨年次大會は七日午前十一時ヒトラー總統、ゲーリング空相、ゲッベルス宣傳相其の他國の首腦、全國ナチス黨代表十万餘、各國外交團出席の下に開催、ヒトラー總統は左の如き宣言を朗讀し共產主義を排擊した

ナチス黨はボルセヒイズムが眞の社會問題解決を忘つてゐる事實を斷乎排擊するものである、ドイツは自國國民に對し恒久的に食糧を確保する爲植民地を必要とする、從つてドイツの植民地要求は全く當然の要求と言はねばならぬ、今やベルサイユ體制は死滅しドイツは自由となつた、ドイツ軍隊はドイツにとり眞の自由の保障である、將來何人と雖も我等が意思を無視することは出來まい、ドイツ政府が日本政府と締結した協定は文明世界に對する侵略を協同して防衛することを目的とする、今日はスペインにおいて、明日は多分東亞において、明後日は更に他の何れかにおいて……

# 中、南支の領事館を 米國は閉鎖する

## ハル國務長官言明

【ワシントン七日發同盟】米國政府は支那に於ける各國の擴大に伴ひ中南支に於ける領事館網縮小を決定したが七日新聞記者團との定例會見に於いて次の如く述べた

支那駐劄ジョンソン大使は廈門、福州の米國領事に對し各地區の米國居留民引揚げの爲閉鎖、遠かに安全地帶に引揚げるやう指令した、但し居留民引揚げにつき諸般の準備完了次第領事館を閉鎖、遠かに安全地帶に引揚げるやう指令した、但し居留民引揚げに先立ち事態が著しく緩和するやうであれば領事館は閉鎖せぬ事になつてゐる

# 在支米人は 商權を死守

## 引揚げ勸告を却け

【上海七日發同盟】ルーズベルト米大統領の聲明としてアメリカ政府は支那在留米人に引揚げを勸告したとの報道は當地在留米人に大動搖を與へてゐるが當局米人社會はアメリカ政府の眞意がどこにあるかを解くそれで當局に於ける最後まで踏留まるべきとの決意を示してゐるが右に關し上海米人商業會議所は七日午後

# 臺灣パルプ工業會社 本月中に創立總會

## 工場は臺中に內定

【東京八日發同盟】昭和製紙では獨逸ヒ社と提携して臺灣に於て製紙用パルプを製造すべく臺灣パルプ工業株式會社の創設を計畫中であつたが、愈々具體化したので近く本月中には創立總會を開く運となつた、製紙會社は、パガスを原料とするパルプ工業進出の實現に乘出したのはこれが最初であり、注目されてゐるが會社設立の要綱は大體次の通りである

一、資本金　二千万圓
一、目的　製紙原料パルプの製造
一、原料　パガスは昭和、大日本兩製糖工場より供給する
一、能力　年產二万五千噸（但し第一期）
一、株式　昭和、大日本兩製糖會社が大半を折半所有する
一、工場　臺中市郊外に內定

尙社長には赤司初太郎氏が就任する見込定にて居り來年十二月頃より操業開始の豫定である

# 事變追加豫算案

## 貴院豫算總會通過

一時五十分散會

◆銃後からやさしい慰問袋

◆無絃琴

# 大臣席に笑ひ顏

## 七日の衆議院雜觀

【東京七日發本社特電】七日の衆議院總會に於ては豫算に對する各派の態度に決定しある事と各派代表の質問に於ては一應紛糾さる議事の進行振を見せ採決の際は擧場なる滿場一致之を可決したと同時に和やかな氣分が會場に充滿するのであつた、この際最も重視をおろしたかの感を持つ

# 英國を紛爭に 捲込む奸策

## 稅關監視船の拿捕

## 英國領海內だとて

【香港七日發同盟】支那稅關監視船○○○

# 南支の華と散つた
# 遺骨十八柱基隆に寄港
## けふ郵船日吉丸で内地へ
## 凱旋の途次
## 無言凱旋

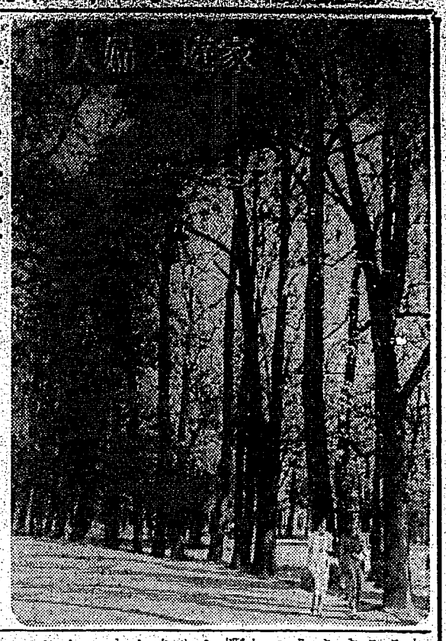
【基隆特電】南支に於て名譽の戰死を遂げた將兵の遺骨十八柱を載せた郵船日吉丸は內地歸還の途次、九日早朝七時基隆に寄港した、入港と共に川添市長、楠田港務局長等が船内に入り恭しく遺骨を受取つた、午前八時半遺骨は埠頭に上陸、基隆神社に安置された、遺骨は陸軍一等兵一柱、伍長一柱、上等兵一柱、一等兵十五柱で、戰死者の內譯は左の如くである

陸軍一等兵　○○○○
陸軍伍長　○○○○
陸軍上等兵　○○○○
陸軍一等兵　○○○○
陸軍一等兵　○○○○
陸軍一等兵　○○○○
陸軍一等兵　○○○○
陸軍一等兵　○○○○
陸軍一等兵　○○○○
陸軍一等兵　○○○○
陸軍一等兵　○○○○
陸軍一等兵　○○○○
陸軍一等兵　○○○○
陸軍一等兵　○○○○
陸軍一等兵　○○○○
陸軍一等兵　○○○○
陸軍一等兵　○○○○
陸軍一等兵　○○○○

遺骨はサルン二隊の將校に安置され各方面より贈られた花環に飾られ各方面より贈られた花環に飾られ各種に分れ並べ悲しみの思はず頭の下るを覺えた、午前七時基隆に着港の號令、八日早朝七時基隆に着港の號令、八日早朝七時基隆に着港の號令、八日早朝

# 何が彼等を不良にしたか？（四）

## 養父母に對する遠慮と物を盜られた敵慨心から



**通稱銀座の讓治**（十九歳）父親が芝浦の時、銀座から、養子となつて、目黒には實子となつてゐるので、父母共に實子として養子である事を知らせまいと努力して養育してゐたが既に自分は養子である事を知つてゐるのです。それが動かぬ頃より、「こんな事をしたらお父さん、お母さんに叱られるだらう」と言つて兩親に反抗するやうになり、何ごとも父母に打明ける事が出來ないで、一人で悶々とする樣になつた。

×

兩親は二人とも年をとつてゐるので養子が實家へ歸り度いといふので、兩親も讓治に歸宅するやうに再三再四說得したが、讓治は父母の言ふ事を聽かず、他人の家へ歸つて行つてしまつた。

×

讓治は、アッチで敵嘲、コッチで人を欺くといふ觀念が養つてくる一方、又女にかけても、自分が一度眞込みをつけた女は必ず自分のものにするといふ自信をもつて女の誘惑（欺瞞）も初めたのです。

×

花子（假名）は銀座の某煙草店の女給で、眞面目な娘ですが、その同僚に兩親がなく、それが讓治から聞時もチップを貰つてゐるのでしたが、その女給の誘ひを受けて、目黒の讓治の家へ遊びに來たのです。

×

讓治は一人で留守番をしてゐたが、その誘惑の强さで人を引込むことを知つたのです。

×

養父母は讓治の行動を知らない訳ではなかつたのですが、血肉を分けた實子でない爲かお互ひの心の中まで相通じてゐないので、すんで讓治の行爲を監督するといふことはしなかつたのです。お互ひに心と心の間に大きな溝をつくつてゐました。

そのうち、

# 國定忠次 (48)

長谷川伸作
岩田專太郎畫

「助けて……」
「忠次郎さん、しっかりおし！」
「助けて……」
「忠次郎さん、しっかりおし！」
「助けて……」
「忠次郎さん、しっかりおし！」

# 臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

社長 木々佐 人行發兼編輯

地番式世日四町榮市北臺 社報新日日臺灣 所行發

## 八月の試験大成績

### 神奈川普文合格者一六五名中 本會會員一〇〇名突破

本會厲報の神奈川縣普通試験は去る八月二日愈々開戰の火蓋を切り八月十日閉戰、翌十一日凱旋の勇士ともいふべき最後の確定合格者を發表したが、輝く榮冠を得た者總て百六十五名、中、本會講義錄による合格者は、本記事執筆中まで既に百名を突破、而もなほ續々增加の見込故、結局八、九割の高率に上るものと觀測される。なほ又八月十六日發表の朝鮮普文合格者よりも續々襲伏到着中である

## 獨學で判任官

本會は創立廿五年の經驗に基き小學卒業程度の學力ある人々を一年以内に獨學合格せしめ、一月(小學卒業)にて文官普通試験又は裁判所書記試験に合格せしむ。(尋常六年修了者は一年半)而もこれらの試験合格者は判任官としての資格がある

## 高等官 辭任も 同任官 等も 出

## 百二回記本 高濱虚子 篇

## 讀書人一致の 皇軍慰問運動

在支皇軍慰問のため讀書人一致の微意を示さんとて我が第一書房は本全集豫約者全部の名に於いて皇軍慰問金獻納の手續きを致します。

## 第一書房豫約

## 全集文句俳

## 豫約全集 卷二十

高濱虚子 篇
富安風生 篇
飯田蛇笏 篇
原石鼎 篇
臼田亞浪 篇
水原秋櫻子 篇
山口誓子 篇
日野草城 篇
吉岡禪寺洞 篇
鳴田青峰 篇
河東碧梧桐 篇
荻原井泉水 篇

前特命全權公使 堀口九萬一

## 國民文學の 指導者

名句・名文・俳論・紀行・小品 各一巻

## 標導指の學文民國

## 高濱虚子 篇

一世を風靡した巨匠の名句に、名文に、俳論に、紀行に、小品に、全集の太陽!!

## 第一書房

豫約規定

一、本全集の太陽は第一回配本高濱虚子篇より第二十回配本まで毎月一回發行す。

一、本全集の豫約は第一回配本發行の日より第二十回配本發行の日まで受付く。

一、豫約者は第一回配本發行の日より第二十回配本發行の日まで毎回豫約金を前金にて送付すること。

一、豫約者には

昭和十二年九月九日　臺灣日日新報　第一万二千四百五十七號　（第三種郵便物認可）

# 戰時議會終る

## 事變豫算成立
## 滿場一致、兩院通過

貴族院本會議

【東京八日發同盟】八日の貴族院本會議は午後三時八分開會、直ちに日程に入り同日の豫算總會で可決された豫算案三件を一括上程、林委員長の委員會の經過竝びに結果の報告あつた後、討論に入り井上匡四郎子（研究）竹越與三郎氏（交友）岩倉道俱男（公正）何れも贊成意見を述べ採決に入り總員起立して同四時七分滿場一致可決し玆に支那事變に備ふる二十億餘の軍事費を含む追加豫算案は成立するに至つた

## 法案全部成立

【東京八日發同盟】八日の貴族院本會議は追加豫算案を可決後一、米穀の臨時措置に關する法律案
一、臨時船舶管理法案
一、輸出入品等に關する臨時措置に關する法律案
一、臨時船舶管理法案
を滿次上程し夫々委員長報告通り可決、最後に午後の豫算で可決一、臨時軍事費特別會計法案
一、支那事變に關する臨時軍事費支辨のため公債發行に關する法律案
一、支那事變のため從軍したる軍人及び其の遺族に對する恩給の減免徴收等竪に關する法律案
一、臨時資金調整法案
一、外國爲替管理法中改正法律案
を一括上程に追加上程し委員長報告通り可決し、茲に臨時總會立法たる法案は何れも原案通り成立し午後四時四十分散會した

## 聖旨奉體決議案
## 總員起立可決す
### 衆議院本會議

【東京八日發同盟】八日の衆議院本會議は午後一時十分開會、各派共同提出の聖旨奉體決議案竝に町田民政黨總裁の戰時財政經濟に關する質問演說を行ひ、引續き廣田首相、賀屋藏相、近衛文麿貴族院議長の戰時財政經濟に關する演說あり、午後四時二十分散會した

【東京八日發同盟】八日の衆議院本會議に上程せられた聖旨奉體決議案竝に安定決議案に關する提案者代表の說明要旨左の如し

### ▽……決議案

【東京八日發同盟】八日の衆議院本會議に上程された聖旨奉體東亞安定に關する決議案左の如くである

一、聖旨奉體東亞安定に關する決議案

我が肇國の大精神を永遠に顯揚し世界の福祉に貢獻する帝國の國是であり、日支關係の調整も亦實に此の大精神に基づくものである、然るに支那は此の大精神を無視し、帝國の眞意を解せず、徒に抗日を事とし、遂に今次の事變を惹起するに至つたのである、我が皇軍は此の大精神に則り、東亞の安定を確保し、以て世界平和の確立に貢獻せんことを期す

右決議す

## 皇謨の深遠に感奮
### 町田提案者代表の說明要旨

ニ、中華民國ノ反省ヲ促シ速カニ眞ノ平和ヲ回復セントスルニ外アラス」

と述べ結局に於ては皇謨の深遠なる、國民たる者誰か感奮興起せざるものありませうか

世界列國も亦之に從ひ

## 國一致は强化」
### 首相談話發表

法律案、豫算なく說明を終つたことは遺憾とするところあるも、この際において帝國一致の實は一日も緩がせられず、この際の力こそ帝國の生命たる皇謨翼賛の力なりと信ずる、今帝國は支那軍の不法暴戻を膺懲し、東亞の安定を確保するの重責を負ひ、擧國一致の力こそ最も必要なるものである、この際に於ては擧國一致

# 蔗茎はガッチリ
## 八三の進出目覚し
### 第一回産糖豫想に就て（下）

殖産局　富岡文雄

| 品種別 | 三P | 三六P | 三四P | F | 其他 |
|---|---|---|---|---|---|
| 本期 | 三六% | 三三% | 三%% | 一%% | 一%% |
| 期中 | 三八% | 三五% | 三%% | 一%% | 一%% |
| 期末 | 三八% | 三六% | 三%% | 一%% | 一%% |

即ち六一八月迄の糖度は九一十一月に於ける糖度に比べ、七四万斤の下落で消費者が多く買ひ易い時期であるから此の点に於ても一般に歓迎されてゐるのである

### 三井商事會社移轉

従来台北市内本町にあつた三井商事株式會社台湾出張所は従来の所在地に於ける事務所の狭隘を感じ、今回台北市内三丁目御園町に新築移転した

## 全國を一丸とした
## 硫安配給共販會社
### 愈よ創立に決定

【東京六日發同盟】政府は硫安の配給を合理的統制の下に置くとして硫安配給統制法案を提出するに至つたが、これが實施に伴ふ諸般の準備を調ふべく硫安配給統制機関たる帝國肥料會社に於ては七日帝國ホテルに關係各社代表者を招集、硫安配給共販會社を創立することに決定した、八日總會に提出して認可を求めるべく目下その準備中であるが、右共販會社は硫安の製造、販賣、配給を一元的に統制し、製造會社の公定販賣價格の決定、販賣數量の割當、配給數量の割當、販賣價格の決定、製造會社の利益の調整に關する事項を取扱ふもので、資本金は一千万圓、拂込は四分の一とし、株式は製造會社のみが引受け、製造會社の持株數に應じ一株以上を割當てる、役員は社長一名、常務取締役二名、取締役若干名、監査役二名以内とし、社長は帝國肥料會社長が兼任する、本社は東京に置き、支店は大阪、福岡、札幌、仙臺、名古屋、高松の六箇所に置く、

製品は全部を一手に買取り配給をなすとともに、必ず安の配給をなし約百五十万噸に達する硫安配給の全國的統制機構が出來上がるものである、即ち製造會社は配給會社に公定價格で販賣し配給會社は問屋又は小賣商に割當て配給數量は問屋又は小賣商に割當て配給數量は問屋又は小賣商に割當て配給數量